

障がい者雇用に取り組む

# 「新生ホームサービス」を訪問しました

住宅リフォームを手がける「新生ホームサービス」は、障がい者雇用を積極的に推進する企業の一つ。Co-Co Life ☆女子部 大阪版のスタッフが神戸の本社を訪問し、広報企画チームの障がい当事者・大田昌孝さんと、共に働く松川倫子さんにインタビューしました。

(左から)新生ホームサービスの松川さん、大田さん、Co-Co Life ☆女子部大阪版の上田菜々と発行人の大倉伸三

## “特別”という意識はなく、“自然に” 仲間の一員に

**大倉:** 新生ホームサービスの障がい者雇用状況について教えてください。

**松川:** 今年4月時点で7人が在籍しており、全社員の比率としては2%を超えています。もともと当社にはキャリアよりも、**本人の意思や適正があれば積極的に採用する企業文化**が根ついていました。このような社風もあり、障がいを持つ方の雇用も「特別なこと」ではなく、自然な流れだと感じます。

**上田:** 会社や同僚として障がいを持つ方に配慮しているところは？

**松川:** 当初はどう接すればよいか戸惑ったこともありましたが、一緒に働くうちに障がい者と健常者のバリアが溶けていきました。障がいを「**苦手なことがあるだけ**」「**その人の個性**」と捉えるようになったことで、「**特別な配慮**」の必要性も意識なくなりましたね。

**上田:** 大田さんは、周囲の対応について感じることはありますか。

**大田:** 私も特別に配慮されていると感じません。自分から「こうして」と言った記憶がなく、事前に同僚たちが察してくれるんです。たまに「できない」と言うと、「**そういえば車いすやったな**」と言われることが(笑)。

本社 事業開発・広報グループ  
広報企画チーム リーダー  
大田昌孝さん

新生ホームサービス株式会社  
兵庫県神戸市中央区御幸通 8-1-6 神戸国際会館 21F  
お問い合わせは ☎0120-361-110  
(受付時間 / 9:00~21:00)  
<https://www.shinseihome-service.com>

**松川:** 確かに、普段は忘れていきますね(笑)。

**上田:** “自然に” 仲間の一員として溶け込める職場環境ってとても素晴らしいと思います！

## 障がいの有無を問わず、前向きにがんばる気持ちをサポート

**上田:** これまで自分の困りごとについて会社が対処してくれた事例はありますか。

**大田:** 入社当時は通勤ラッシュで電車に乗れず、始業時間に間に合わないことが。会社に相談したところ、慣れるまで私の出社時間を調整してくれて助かりました。

**松川:** 障がいの有無に関わらず、**頑張っている社員の課題や目標は全面的にバックアップ**していくのが当社の姿勢なんです。

**上田:** この会社で働いてきて、大田さんが良かったと思うことは？

**大田:** 自分を1人の必要な戦力として、なんでも任せて、**挑戦させてくれることが自信になり、内面にも大きな変化**が生まれました。そのチャンスが障がいを持つ私だけでなく、全社員にも与えられている会社だと感じています。

**大倉:** Co-Co Life ☆女子部が目指すのは、社会からバリアフリーという言葉や意識がなくなること。その環境をすでに実現されているんですね。

大田さんのオフィスも見学。バリアフリーのフロアで、いきいき働く様子が印象的でした。

上田菜々

(20歳 / 脊髄性筋萎縮症)



**上田:** これから社会に出る、障がいを持つ者に伝えたいことは？

**大田:** **どのような助けが必要か、どんなことが自分でできるか、きちんと相手に伝えることが大切**。そして、やる気や熱意を発信すれば回りの人はサポートしてくれます。そこに障がいの有り無しは関係ないと思っています。

**上田:** 最後に、読者の健常者や企業へのメッセージをお願いします。

**大田:** 障がい者という視点ではなく、その人自身に何ができて、何ができないのかを見てください。本人に直接聞き、「**必要なサポート**」を行うことで問題なく働ける人たちがいます。自分がこうして働いていることで、他の障がいを持つ方々の雇用の機会が広がればとても嬉しいですね。



### ★インタビューを終えて…

社員の経験がなく、取材も初めての経験でした。大田さんのお話は共感できるポイントがたくさんあって、障がい者雇用に対する会社の姿勢にも感激。この会社で働きたくなりました！(上田菜々)

本社 事業開発・広報グループ  
広報企画チーム  
チーム長 主任  
松川倫子さん

